

令和5年度第1回小金井市長期計画審議会 次第

日時 令和5年6月26日（月）午前10時から

場所 小金井市役所本庁舎3階第一会議室

- 1 諮問について
- 2 令和5年度施策評価について
- 3 グループワークについて
- 4 次回ヒアリングについて
- 5 その他

■配布資料

- 資料1 小金井市長期計画審議会委員名簿
- 資料2 令和5年度長期計画審議会スケジュールについて
- 資料3 施策評価シート
- 資料4 担当課一覧（施策）
- 資料5 関連計画一覧
- 資料6 グループワーク名簿

小金井市長期計画審議会委員名簿
(任期：令和 5 年 1 月 2 7 日～令和 7 年 1 月 2 6 日)

令和 5 年 6 月 2 6 日現在

委員区分			氏名	備考
1号委員 (5名以内)	市民	公募委員 論文選考 (3名)	たかまつ おうすけ 高松 央介	
			たなか ちづえ 田中 千鶴枝	
			たばた ゆうや 田端 佑也	
		公募委員 無作為抽出 (2名)	あまの かな 天野 佳奈	
			かしま なぎさ 榎山 渚	
2号委員 (5名以内)	関係団体が推薦する者	こば ゆきお 木場 征夫	社団法人小金井市シルバー人材センター	
		こばやかわ よしのぶ 小早川 良信	社会福祉法人小金井市社会福祉協議会	
		すずき たくま 鈴木 琢真	多摩信用金庫	
		すどう よしあき 須藤 吉章	公益法人小金井市商工会	
		ふくひら けいいち 福平 恵一	小金井市青年会議所	
3号委員 (2名以内)	学識経験者	ぼんぼ いくこ 萬羽 郁子	東京学芸大学准教授	
		わたなべ かじろう 渡邊 嘉二郎	法政大学名誉教授	
4号委員 (1名以内)	教育委員会 の委員	あさの ともひこ 浅野 智彦	小金井市教育委員会委員	
5号委員 (1名以内)	農業委員会 の委員	いでら よしか 井寺 喜香	小金井市農業委員会委員	
6号委員 (2名以内)	市に勤務する職員 及び 関係行政機関の職員	関係行政機関	でと つよし 出戸 剛	東京都北多摩南部建設事務所
		市勤務職員		

令和 5 年度長期計画審議会スケジュールについて

日程		内容
令和5年度 施策評価		
第1回	6月26日(月) 10時～	・諮問について ・令和5年度施策評価について ・グループワークについて ・次回ヒアリングについて
第2回	①7月20日(木) 10時～ ②7月25日(火) 10時～	・ヒアリングについて ・長期計画審議会コメントの検討について ・グループワークでの検討結果について
第3回	①8月24日(木) 10時～ ②8月24日(木) 18時30分～	・令和5年度施策評価のまとめ(答申)

※第2回、第3回の日時は、①②のどちらかで開催

政策 環境と都市基盤

第5次基本構想・前期基本計画

令和5年度 施策評価シート

施策1 みどりと水の環境整備

【Plan】

目指す姿	美しく質の高いみどりと水を私たちみんなの力で適切に保全・活用し、豊かな自然と都市が調和した次世代に誇れるまち		
主担当課	環境政策課	関連課	農業委員会事務局、都市計画課、道路管理課、まちづくり推進課
関連計画	環境基本計画、みどりの基本計画、農業振興計画、都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【切れ目のない協働の仕組みづくり】（環境政策課）</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの参加が可能な花の植え替えイベントをむさごぶらっと公園（23人・うち子ども8人）及び栗山公園（45人・うち子ども17人）で実施した。・環境美化サポーターとの意見交換会を5回、ワークショップを1回、交流会を2回、定例的な打合せを8回実施し、課題共有及び課題解決に向けた協議を実施した。・市報で環境特集号を発行し、環境美化サポーター制度の周知を図り、新たに2団体が登録した。・身近なみどりに興味を持ってもらうために、小金井第四小学校の児童には滄浪泉園緑地、東小学校の児童には栗山公園の樹名板を作製してもらい、設置した。 <p>【みどりと水の保全】</p> <ul style="list-style-type: none">・生け垣造成の補助要件及び保存生け垣の指定要件を緩和した。（環境政策課）・生産緑地に市民農園の開設が可能になったことや生産緑地の貸借制度について、市内農地所有者に周知した。（農業委員会事務局）・街路樹管理事業を実施した。（道路管理課） <p>【既存公園・緑地の新たな活用】（環境政策課）</p> <p>公園の整備・維持管理について、指定管理者制度導入に向けて民間事業者のノウハウやアイデアを聞くための個別対話を実施した。</p> <p>公園に求める機能などを把握するために、市内4児童館において子どもとワークショップ及び子育て世代へのアンケートを実施した。</p> <p>低未利用の公園について、地域安全課へ用途を変更し、防災倉庫用地として新たな活用を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none">・みどりと水の環境整備は、市だけが取り組むだけでは達成することができず、市、事業者、市民がそれぞれ主体的に協働して取り組む必要がある。・街路樹管理は、生育を見極めつつ交通の安全を確保する管理が必要である。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 みどりと水の環境整備に対する満足度（アンケート）	63.2%	80.0%	72.0%	69.6%			
2 公園環境美化サポーターの登録者数	222人	280人	331人	311人			

総括・自己評価

・保全緑地制度のうち、生け垣造成の補助要件及び保存生け垣の指定要件について、緑地保全対策審議会での審議を踏まえ、更なる緩和をすべく規則等の改正をし、みどりの保全を着実に進めている。

・環境美化サポーターに新たに2団体の登録があり、目標登録者数を上回ることができた。今後も市報（環境特集号）等を通じて環境美化サポーター制度の周知を図り、市民協働による公園美化の推進を図っている。

・市立公園に指定管理者制度の導入に当たり、環境美化サポーターとの意見交換を例年以上に実施することにより、課題共有を図ることができ、団体間同士の交流も生まれている。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	環境美化サポーターと例年以上に意見交換するとともに、協働してイベント実施することにより、市民協働によるみどりの保全に寄与し、目指す姿の実現に向けた一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

- ・環境美化サポーターと関係構築を更に深めるため、先進的な取組をしている公園の視察、交流会、意見交換会及び養成講座を実施する。
- ・子どもが参加可能な花壇の植え替えイベントを継続して、むさごぶらっと公園及び栗山公園において実施する。
- ・市民に身近な市立公園の質の向上及び市民協働の深化を図るため、令和5年度に指定管理事業者の募集及び指定をする。指定管理者には、市民協働のコーディネーターを務める担当者の配置を求める。
- ・低未利用の公園について、地域安全課へ用途を変更し、防災倉庫用地として新たな活用を図る。

施策2 循環型社会の形成

【Plan】

目指す姿	私たちが一体となって3Rに取り組む、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」		
主担当課	ごみ対策課	関連課	
関連計画	一般廃棄物処理基本計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減の推進 ・リユースルートの構築と円滑な運用の推進 ・生ごみ資源化の施策の推進 ・施策の見える化による効果的な啓発の強化 ・小中学校を対象とした環境学習の推進 ・町会・自治会・子供会などの団体への環境学習の支援と推進 ・事業系ごみの発生抑制の推進 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市民や市内事業者と直に接する機会が限られていたことから、下記事業の実施が不十分であった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校を対象とした環境学習の推進 ・町会・自治会・子供会などの団体への環境学習の支援と推進 ・事業系ごみの発生抑制の推進

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 3Rに取り組んでいる市民の割合（アンケート）	86.3%	90.0%	91.5%	90.0%			
2 市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	369g	355g	378g	363g			

総括・自己評価

循環型社会の形成に向け、発生抑制を最優先とした3Rの推進を図るため、開庁時間に縛られない施策展開をできるよう、地域情報サイト「ジモティー」を活用した粗大ごみのリユース事業「ゆづる輪」及び食品ロスマッチングサービス「小金井カメすけ」の試行実施の他、ウォータースタンド株式会社との連携協定を締結の上、ボトルディスプレイ型給水機を公共施設へ設置し、マイボトルの利用促進を図る事業に開始した。

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	指標1は令和7年度目標を達していることに加え、指標2では前年度比で一定の成果を上げたため
-------	--------------	----	--

【Action】

<h4>次年度の施策の方向性</h4> <p>小金井市DX全体推進方針にもあるように既存業務の改善項目の洗い出しを進めるとともに、①市民目線でのサービスの質の向上を目指し、新たな情報の発信・情報提供手法の構築等を進め、施策の認知度並びに指標1の市民割合の維持向上並びに指標2の改善を図る。</p>
--

施策3 環境保全の推進

【Plan】

目指す姿	私たち一人ひとりが自主・自立的に環境保全行動を実践し、エネルギー使用の抑制や環境負荷軽減などの地球温暖化対策を推進することによる、公害が少なく、環境にやさしいまち		
主担当課	環境政策課	関連課	
関連計画	環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画		

【Do】

<p style="text-align: center;">令和4年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネチャレンジ事業を実施した。 ・住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業を実施した。 ・次世代自動車普及促進補助事業を実施した。 ・環境啓発事業（環境フォーラム等）を実施した。 ・環境教育事業、森林教育事業を実施した。 ・公害関連の各種測定業務を実施した。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>地球温暖化対策推進のためには、地球に住む私たち一人ひとりが自分事として意識し、行動に移すことが重要である。世界的に温暖化に伴い、気候が危機的な状況にあることを職員、市民、事業者等が共有し、地球温暖化対策に積極的に取り組む必要がある。</p>
---	--

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 省エネルギーに取り組んでいる市民の割合（アンケート）	70.1%	80.0%	75.0%	75.5%			
2 小金井市公共施設の温室効果ガス総排出量	5,906 t	5,457 t	5,910 t	—			

総括・自己評価

住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金について、多くの家庭に利用していただくなど、制度が周知され省エネに関する取組みを推進することができた。
令和4年度から開始した次世代自動車普及促進補助事業についても多くの方に利用していただき、地球温暖化防止及び脱炭素社会の実現に向けた取組みとして成果を挙げることができた。
環境教育事業、森林教育事業等、主に小中学生を対象とした事業においても、自ら積極的に取組もうとする気持ち、姿勢を醸成することができた。

評価

達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由	補助事業について、市報（環境特集号等）、HP、Twitter等の媒体や環境フォーラム等の事業で周知することで認知度を上げることができた。多くの市民に補助制度を利用していただくことで、地球温暖化防止対策に寄与することができた。また環境教育、森林教育、省エネチャレンジ等の事業においても、未来を担う子ども達の森林保全の意識啓発に繋げること、市民意識の醸成を図ることができたため、一定の成果を上げることができたと評価した。
-------	------------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

気候危機が一層深化する中、世界では2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする目標に向けて歩みを進めている。本市としても「気候非常事態宣言」（令和4年1月1日）において、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指しているところであり、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に向けて各種取組みを実施している。地球温暖化対策の推進については、一人ひとりが他人事ではなく、自分事として意識し、行動に繋げることが重要であるため、引き続き市民、事業者、職員の意識啓発を推進していく。

施策4 市街地の整備

【Plan】

目指す姿	魅力的な市街地、まちの顔となる駅周辺の整備を進め、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまち		
主担当課	都市計画課	関連課	まちづくり推進課、道路管理課、区画整理課
関連計画			

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>■宅地開発指導（同意協議の件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発事業 15件 中高層建築物等の建設事業 10件 <p>■武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備組合と地元組織が連携し、まちづくりの検討を行った。 <p>■区画整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮換地指定に伴い、建物、工作物等の移転を行った。 ・整地及び道路築造工事を行った。 ・まちづくりニュースを発行することによって、地権者及び市民の事業に関する疑問や不安を軽減し、より一層の事業に対する理解を得るように努めた。 <p>■道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道15号線の街路築造工事を実施した。 	<p>■武蔵小金井駅北口まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でなかなか協議会等が開催できなかったが、スピード感をもった取組みを地元権利者等と一緒に進めていきたいと考えている。 <p>■区画整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路築造費及び整地費等の工事費用の増額や損失補償費の増大、さらには地権者との交渉難航等による事業期間が延長することへの懸念がある。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 駅周辺などにおいて、小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じる市民の割合（アンケート）	32.8%	50.0%	43.3%	40.6%			
2 駅周辺整備の進捗率	69.4%	77.0%	71.6%	73.5%			

総括・自己評価

東小金井駅北口土地区画整理事業は、周辺の基盤整備がなされないまま一部宅地化が進んだ状況である駅前区域について、計画的な都市基盤整備や土地の有効利用等を図り、本市の東部地区の地域中心核としてふさわしい魅力ある市街地環境を創出することを目指し、平成12年から事業を進めてきたが、一部の地権者との交渉難航や工事費等の増大といった懸念材料も残されている。

駅周辺の整備については、東小金井駅北口の区画整理事業が着実に進んでいるため、進捗率の数値は上がっているが、小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じる市民の割合は令和3年度実績と比べると下がっている。

令和3年度実績では、武蔵小金井駅南口再開発事業の完成もあり、アンケートの数値が上昇したと考えられる。

今後も魅力的な市街地、まちの顔となる駅周辺の整備を着実に進め、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまちを目指し、市民に小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じてもらえるように、引き続き計画的に整備を進めていく必要がある。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	駅周辺整備は、武蔵小金井駅北口や東小金井駅北口の区画整理事業では、今後、進めていくうえでの課題はあるが、小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じる市民の割合（アンケート）は、昨年度と比べると下がってはいるものの、駅周辺整備の進捗率は上がっているため、一部の成果が上がっていると評価した。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

- ・武蔵小金井駅北口のまちづくりや東小金井駅北口の区画整理事業など、駅周辺の整備を計画的に進めていく。

施策5 住環境の整備

【Plan】

目指す姿	宅地内の緑化推進、良質な住宅の供給、施設の耐震化や長寿命化、バリアフリー化の推進などによる、自然と調和した、安全かつ快適で住み心地の良いまち		
主担当課	まちづくり推進課	関連課	環境政策課、都市計画課、経済課、地域安全課、庶務課、道路管理課、交通対策課、介護福祉課、自立生活支援課、下水道課
関連計画	住宅マスタープラン、耐震改修促進計画、公共下水道プラン		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■都市農地保全支援プロジェクト補助金事業を実施 <p>【環境政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業を実施 <p>【介護福祉課】</p> <p>高齢者のいる世帯に対し、転倒予防、動作の容易性の確保（痛みの軽減）、行動範囲の拡大の確保、介護の軽減の効果を確保するため、その者の居住する住宅の改修費用の一部を給付し、在宅での生活の質の確保を図る。</p> <p>【道路管理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■街路樹管理事業を実施 <p>【下水道課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新築建物へ雨水浸透ます設置を促進 ■雨水浸透施設等設置助成事業を実施 <p>【交通対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■街路灯維持管理事業を実施 <p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日常生活用具費給付事業（住宅改修費）を実施 ■住宅入居等支援事業を実施 <p>【まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■木造住宅耐震助成事業を実施 ■特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成事業を実施 ■マンション適正管理促進事業を実施 	<p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■生産緑地法上では設置できる農業用施設を設置した場合に、相続税納税猶予制度の適用を受けられないことがある等、国の農地関連施策と税制度で不整合が生じている。 ■都市における農地は、相続によって宅地化されるケースが大半である。相続時に市が農地を取得するためのしくみはあるものの、多額の財源を要するため困難な状況である。そのため、現在、農地を所有している世代に対する農地保全に資する取組を実施しているが、根本的な解決には至っていない。 <p>【環境政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■引き続き補助制度のPRを実施する必要がある。 <p>【介護福祉課】</p> <p>住宅改修の申込み手続きは複雑であり、高齢者が自らが行う場合、困難を伴うことが多い。他事業の住宅改修相談や地域包括支援センターでの相談受付を強化し、希望する方が住宅改修をすることができるよう、連携を強化していく必要がある。</p> <p>【道路管理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■生育状況を見極めた管理が必要 <p>【下水道課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■助成の申請件数が年々減ってきているため、引き続き助成制度のPRを行っていく必要がある。 <p>【まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■木造住宅耐震助成事業の耐震改修については、令和4年度から除却を対象としたことで、一定の進捗に貢献したが、周知がいきとどいていないところもあるため、引き続き周知活動に力をいれていく。 ■特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成事業については、区分所有者それぞれの状況の違いもあり、合意形成を得るのが困難な場合等があることは課題となっている。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 自然と調和した快適で安全な住環境が整備されていると感じる市民の割合（アンケート）	52.3%	70.0%	65.2%	65.7%			
2 市内の住宅の耐震化率	93.0%	耐震性が不十分な住宅を概ね解消	94.0%	94.5%			
3 管理状況の届出を行った要届出マンションの割合	—	80.0%	79.2%	83.0%			
4 住宅用新エネルギー機器等普及促進の達成率	7.5%	11.6%	8.7%	9.4%			
5 高齢者自立支援住宅改修給付の到達率	93.0%	100.0%	94.7%	89.6%			

<p>総括・自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ■指標の説明ではなく指標結果を踏まえた施策全体の成果・効果を記入。（「目指す姿」の達成度など） <p>【総括】全事業において、昨年度に引き続き進捗率は概ね伸びている。今後も現状の課題を検討し、引き続き目標達成に向けた取組を実施していく。</p> <p>【自己評価】助成事業が多いため、市民への周知、情報発信の方法、東京都の施策の紹介などにより、市民生活の向上に寄与していくことも必要である。</p>

達成度合い	一定の成果があがっている	理由	指標の数値が伸びているため、目指す姿の実現に向けた一定の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

・各事業が進捗したことで、アンケート結果が目標に近づいたことは評価できる。多岐にわたる助成事業の達成率も高くこれらも評価できる。さらに市民へ周知する取組の強化、課題解決に向けた対策に努めていただきたい。

【Action】

次年度の施策の方向性

各指標については、一定の成果を上げているので、課題を検討し、引き続き事業をすすめていく。

施策6 都市インフラの整備

【Plan】

目指す姿	利便性の高い道路ネットワークの構築と災害に強い安全で安心な都市基盤を整備し、適切に維持管理していく快適なまち		
主担当課	道路管理課	関連課	都市計画課、下水道課
関連計画	無電柱化推進計画、橋りょう長寿命化計画、都市計画マスタープラン、公共下水道プラン、ストックマネジメント計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>■主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋りょう長寿命化補修工事を実施 ・電線共同溝修正設計を実施 ・都市計画道路の拡幅整備事業 ・下水道施設の点検・調査、工事設計、工事等を実施。 	<p>■施策全体の課題／事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・4・1号線は、関連事業の影響や事業の理解を得られていない地権者もいるため、用地取得が課題である。 ・都市計画道路3・4・8号線は市の財政状況もあり、用地取得費の予算の確保が課題である。 ・下水道設備における施設更新のための事業費が増加する。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 市内の道路が快適に通行できていると感じる市民の割合（アンケート）	32.9%	50.0%	40.6%	36.0%			
2 市内の道路が適切に管理されていると感じる市民の割合（アンケート）	35.6%	50.0%	43.5%	40.8%			
3 無電柱化推進計画に基づく進捗率	0.6%	1.8%	1.0%	1.1%			

総括・自己評価

小金井街道及び連雀通りについては、無電柱化を行いながら、拡幅整備事業を進めており、令和4年度は一部路線について完了させることができました。その結果、災害に強く、快適に通行できる環境が整備できた。また、橋りょう長寿命化計画に基づき野川に架かる3橋の補修を実施し、市民が安心・安全に生活できる環境整備を着実に進めている。しかしながら、アンケート結果では、当初よりは高いものの令和3年度と比較し下がっており、市民が実感できるような状況とはなっていない。今後も引続き、市民等からの通報や要望には速やかに対応するとともにパトロール等を実施しながら適切な管理に努めたい。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	橋りょうや下水道施設の補修工事を実施しており既存インフラの維持管理を進めていることから、一定の成果が上がっていると評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

<h3>次年度の施策の方向性</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・計画・プランに基づき、引き続き事業を進めていく。

施策7 交通環境の整備

【Plan】

目指す姿	円滑で利便性の高い移動手段を構築し、通行上の安全性を確保することにより、安全かつ快適に人が行き交うまち		
主担当課	交通対策課	関連課	まちづくり推進課、区画整理課
関連計画	交通安全計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【交通対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全推進事業 看板の設置や道路の補修、通学路点検、交通安全運動による啓発等を実施 放置自転車対策事業 放置自転車の撤去、自転車駐車場附置の指導等 公共交通 令和4年8月に「C○C○バス」再編計画を策定 <p>【区画整理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業の継続した実施 	<p>交通安全施設について、優先度合を調整しながら整備を行っているが、全体的に老朽化が進んでいる。</p> <p>自転車駐車場について、所有者のご協力もいただきながら運営しているところであるが、諸般の事情により減少傾向にある。現時点では放置自転車が増えているということはないが注視が必要である。</p> <p>公共交通について、C○C○バスルートの一部変更を決定したところであるが、未だ一部に公共交通不便地域が残っている。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 市内を安全に移動できていると感じる市民の割合（アンケート）	49.2%	60.0%	55.9%	50.4%			
2 市内の交通手段における利便性への満足度（アンケート）	46.7%	70.0%	55.1%	50.6%			
3 交通事故死傷者数	173人	121人	174人	196人			

<p>総括・自己評価</p> <p>交通安全推進事業や放置自転車対策事業において真新しい取組はないが、適切かつ着実に継続して実施していくが目標達成のため重要であると考えます。 C○C○バス再編事業により、公共交通不便地域となっていた一定の地域について解消が図られることになった。</p>
--

評価			
達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	前年比よりポイントを下げた指標もあるが、ココバス再編計画を令和4年8月に策定し利便性の向上を図ったため。
長期計画審議会コメント			

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>交通安全推進事業や放置自転車対策事業について次年度以降も市全体の交通環境の整備に資するよう丁寧な積み重ねとなる対策を講じる。 C○C○バス再編後の各種公共交通の在り方を検討するため地域公共交通計画の策定に着手する。</p>

政策 地域と経済

施策8 危機管理体制の構築

【Plan】

目指す姿	私たち一人ひとりが災害や感染症などに備え、互いに助け合うことのできる「人の輪」をつなげる、様々な危機に強いまち		
主担当課	地域安全課	関連課	介護福祉課、指導室、まちづくり推進課、地域福祉課、健康課
関連計画	地域防災計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【地域安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練／総合水防訓練 地域防災計画の修正 自主防災組織電源確保補助事業 災害対策用備蓄食糧等購入 災害時応援協定の締結（3件） 消防団員の防火帽更新、ポンプ車等に搭載しているAED更新 <p>【まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロック塀等撤去助成事業を実施 木造住宅耐震助成事業を実施 <p>【健康課】</p> <p>小金井市新型インフルエンザ等対策業務継続計画（BCP）を、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生を踏まえて修正を行った。</p>	<p>公助の面では引き続き一定の成果があった。自助・共助意識の醸成という面では、コロナ禍により中止・縮小されていた総合防災訓練等を行うことができたが、推進に向けて今後も新たな企画や広報等、さらなる取組が必要である。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 まち全体で災害などへの備えができていると感じる市民の割合（アンケート）	17.0%	30.0%	21.3%	21.3%			
2 災害などのための備蓄を行っている市民の割合（アンケート）	57.1%	70.0%	60.2%	59.4%			
3 直近1年間で防災訓練に参加したことがある市民の割合（アンケート）	21.0%	30.0%	11.9%	10.8%			

総括・自己評価
令和4年度はコロナ禍ではあるものの総合防災訓練等を実施し、指標3の底上げを目指したところではあるが、自主防災組織内では活動の自粛や規模の縮小等、開催頻度がコロナ禍前の水準に至っていないこともあり、数値は伸び悩んだ。しかし、市として市民参加型の訓練を令和元年度ぶりに実施できたことについては、一定の評価ができると考える。また、総合水防訓練については、例年通りの会場ではなく別の地域での開催とすることで、参加者層の拡大を図った。指標1・2については当初以上の水準ではあるものの、昨年度からは微減しており、防災訓練での啓発や各広報等、さらなる啓発が必要と考える。

評価	
達成度合い	一部の成果が上がっている
理由	総合防災訓練などの参加型訓練を実施することができたものの、市民の防災意識の向上に向けてさらなる取組が必要であるため。

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性
実災害を踏まえた他自治体の取組等の情報を多く取り入れ、目指す姿の形作りを推進していく。

政策 地域と経済

施策9 地域の安全・安心の向上

【Plan】

目指す姿	防犯意識の向上、犯罪や消費者被害の未然防止などの推進、関係機関との防犯協力体制の構築により、安全で安心して暮らすことができるまち		
主担当課	地域安全課	関連課	経済課、資産税課、環境政策課、ごみ対策課、健康課、まちづくり推進課、道路管理課、交通対策課
関連計画			

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【地域安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に自動通話録音機の貸出を実施（120台） ・防犯活動を実施する団体等に防犯資機材を支給（5団体、合計96個） <p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害を未然に防止することを目的に、講座を26回実施（高齢者向け16回、若年層向け9回、全世代向け1回。消費者講座講師謝礼決算額237,700円。参加者数2,405人）。 	<p>【施策全体の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り込め詐欺や消費者被害等に遭う市民が一定数存在すること。 <p>【事業の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯資機材及び防犯設備整備事業補助金（令和4年度実績なし）について、広報はしているが広く認知されているとは言えないこと。 ・消費者教育を市内のすべての学校で実施できていないこと。 ・高齢者の消費者被害が多い一方で、外出の機会の多い活発な高齢者が啓発活動の対象となりがちであること。 ・若年層と高齢者層に啓発活動を行っているが、中間世代向けの事業が手薄となっていること。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 犯罪などに対する取組や地域の体制に安全・安心を感じる市民の割合（アンケート）	31.4%	50.0%	42.3%	40.0%			
2 犯罪発生件数	758件	600件	497件	553件			
3 消費者啓発事業への参加人数	2,691人	3,000人	1,285人	2,405人			

総括・自己評価

指標3は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を縮小していた消費者講座が通常開催できるようになったこともあり、昨年より倍増し、目標に近づいている。
 指標2について、昨年より上昇しているが目標は達成している。内訳を見ると、詐欺の発生件数については若干減少しており、本施策で取り組んでいる詐欺及び消費者被害対策については一定の効果があったものとする。
 施策9全体としては、一部成果があがったと考えられるものの、指標1が昨年より微減し、目標にも達していないことから、目指すべき安全・安心なまちに近づくためにより一層防犯対策に取り組む必要がある。

評価

達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由	啓発事業や自動通話録音機の貸出等により、目指す姿実現に向けた一定の成果を上げたと考ええる。
-------	------------------	----	---

長期計画審議会コメント

--	--	--	--

【Action】

次年度の施策の方向性

詐欺及び消費者被害対策を継続して行うほか、地域における見守り活動の促進や、防犯に関する広報・啓発を行うことで、市全体の防犯力の強化をはかり、市民がより安心感を得られるまちづくりを推進していく。

政策 地域と経済

施策10 産業・観光の振興

【Plan】

目指す姿	多様で豊かな市民力あふれる生活都市にふさわしい産業・観光の創出・育成に継続的に取り組み、地域の付加価値を高める、ふれあいと活力のあるまち		
主担当課	経済課	関連課	まちづくり推進課、区画整理課、自立生活支援課、高齢福祉担当、男女共同参画室、子育て支援課、地域福祉課
関連計画	産業振興プラン		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■商工会及び観光まちおこし協会への補助事業 ■地域振興事業 <p>【高齢福祉担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小金井市シルバー人材センター事業費補助（高齢者の就業機会の増大、活力ある地域社会づくり） ■小金井市シルバー人材センター事業に係る広報活動への協力 <p>【男女共同参画室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■再就職支援講座を実施。 <p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■就労を希望する障がいのある人の就労支援を実施（小金井市障害者就労支援センター） <p>【区画整理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■土地区画整理事業の実施 ■まちづくりニュースを発行 	<p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■イベント実施の減少 <p>【高齢福祉担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■シルバー人材センターの会員数の継続的な減少。 ■補助金に依存することなく、独自の収益によりセンターの運営ができるよう経営体力を付けることが必要。 <p>【男女共同参画室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■周知方法の検討 <p>【区画整理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業期間の延伸及び延伸に伴う事業費の増大

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 まちに活気があると感じる市民の割合（アンケート）	32.2%	40.0%	41.6%	44.2%			
2 年間小売販売額	860億1,400万円	維持					
3 滞在人口率	0.86倍	0.90倍					

総括・自己評価

指標1のまちに活気があると感じる市民の割合が、コロナ禍前の日常に戻ってきている傾向となっていることから、目標及び令和3年度実績を上回る増加結果となっており、担当課及び関連課で実施してきた事業が成果として表れていると考える。指標2及び3については、現段階で数値が公表されていないため評価できない。

評価			
達成度合い	順調に成果が上がっている。	理由	目標及び令和3年度実績を上回る増加結果となっていることから、目指す姿実現に向け、順調に効果を上げてきていると評価できる。

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

今年度以降は、コロナ禍前の通常事業やイベント等が例年どおり実施されることが想定されるため、一層のまちのにぎわいの創出が求められる。また、コロナ禍で実施できたことを振り返りながら、まちのにぎわいを創出するイベント等に反映可能なものは反映し、最適な実施方法を模索していく。

施策 1 1 都市農業の振興

【Plan】

目指す姿	多面的機能を持つ農地の適正な保全を図り、有効活用することにより、都市と農地が共存し、市民生活を豊かにするまち		
主担当課	経済課	関連課	農業委員会事務局、環境政策課、都市計画課、まちづくり推進課、介護福祉課
関連計画	農業振興計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【担い手の確保・育成と力強い農業経営の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定・認証農業者支援事業 ・援農ボランティア養成講座 ・新規就農者に対する支援環境の整備（都市農地貸借や販路等に係る支援、認定就農者（青年等就農計画制度）の認定（1経営体）） <p>【多面的機能をいかした農地保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市農地保全支援プロジェクト補助金 <p>【持続可能な農業経営の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食への市内産農産物活用に関する支援 ・原油価格高騰等に伴う農業用資材の高騰分への対応として、小金井市農業振興連合会が実施する環境負荷を低減した肥料購入費助成事業への上乘せ補助を実施 <p>【小金井農業の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井市農業振興連合会補助金（立毛品評会、農業絵画コンクール、学童収穫体験等の実施） 	<p>【担い手の確保・育成と力強い農業経営の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者が年々減っているなか、後継者や新規就農者等に対する支援環境の整備が必要である。 <p>【多面的機能をいかした農地保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や農地保全への対応、限られて農地の有効活用、都市農業の多面的機能を通じた市民の農業への理解の醸成が必要である。 ・都市農地の貸借制度を活用することにより、後継者の他、新規就農者や農業分野外の団体等の参画も見込まれる中、農地のマッチング等の仕組みが整っていない。 <p>【持続可能な農業経営の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズと各農業者の経営に合った流通やネットワークの構築（ICTの活用含む） ・農産物の高付加価値化、6次産業化の推進 <p>【小金井農業の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験やイベントなどの交流機会の拡充 ・交流機会の創出による商業・福祉・教育など他分野との連携

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 これまでに小金井市産農産物を購入したことがある市民の割合（アンケート）	78.1%	80.0%	71.8%	75.1%			
2 農業産出額	3.3億円	4.0億円	3.1億円	—			
3 農業振興計画の達成率	70.6%	80.0%	72.5%	75.0%			

<p>総括・自己評価</p> <p>指標1は、R3実績と比較し3.3ポイントの増となっている。これは、R3年度に6,000部作成し、配布が完了している農産物産先直売所マップや農業祭等の農業関連イベントが再開されはじめたことにより、市民に対して市内農業をPRする場が増えてきたことが要因の一つとなっているものと考えられる。</p> <p>指標3は、R3実績と比較し2.5ポイントの増となっている。新たな担い手への支援や学校給食への市内産農産物利用促進への取組の他、コロナ禍においても、市民農園の整備や農産物産先直売所マップの作成等、地産地消や小金井農業の魅力発信につながる取組を進めてきたことが少しずつ成果となっているように考える。</p> <p>指標2については、現時点で数値が公表されていないため評価できない。</p>

評価			
達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	指標1・3ともにポイントの増となっており、コロナ禍においても実施可能な事業を実施してきたことにより、目指す姿実現に向け、一定の成果を上げたと評価した。
長期計画審議会コメント			

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>令和3年度に策定した農業振興計画（令和4～12年度）に掲げる”「魅力」「豊かさ」「笑顔」溢れる都市農業のまち 小金井”を「農」に関わる様々な主体が目指すべき方向性として共有し、引き続き農業振興施策を展開していく。</p>
--

政策 子どもと教育

施策12 子どもの育ちの支援

【Plan】

目指す姿	子どもの権利を保障し、安心して過ごせる居場所や様々な体験の機会を提供することで、生まれ育つ環境に左右されず、全ての子どもがいきいきと健やかに安心して暮らせるまち		
主担当課	児童青少年課	関連課	生涯学習課、コミュニティ文化課、環境政策課、指導室、子ども家庭支援センター、子育て支援課、企画政策課
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）、第3次明日の小金井教		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【子どもの居場所の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所を運営する団体に対する補助制度について、子ども食堂に加え、自由な居場所や学習支援の居場所を運営する団体に補助対象を拡大（子育て支援課） 児童館事業の実施（児童青少年課） <p>【豊かな体験や仲間づくりの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども向け体験事業の実施（各課） <p>【子どもの権利の保障】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもオンブズパーソン相談室の開設（児童青少年課） 虐待対応事業の実施（子育て支援課） 子どもの権利に関する子ども向けホームページ及び動画の作成（公開は令和5年度）、小学校における出前授業の実施（児童青少年課） <p>【子どもの社会参画と意思の尊重】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの意見表明やボランティア活動の場の提供（各課） 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小やボランティアの受け入れ中止等、一部制約を受けた事業があった。 各事業の周知を引き続き図っていくとともに、効果的な手法や事業の充実について、継続して検討していくことが必要。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 子どもが育ちやすい環境だと思う市民の割合（アンケート）	62.6%	80.0%	71.2%	68.7%			
2 自分には良いところがあると思う小学生の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	85.8%	100.0%	78.5%	86.4%			
3 自分には良いところがあると思う中学生の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	71.0%	75.0%	74.5%	78.8%			

総括・自己評価

いずれの指標も当初値に比べて増加はしているが、指標1については前年度の実績よりも減少した。新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの居場所に関する活動の制限が長期化していることが原因の一つと考えられるが、活動の制限がなくなり、コロナ前の規模で事業が実施できるようになる見込みであることや居場所の充実のための新たな取組も行っていることから、今後改善されていくものと考えられる。指標2は増加しているものの、目標値を達成するためには、より一層の取組が必要となると思われる。

評価

達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由	すべての項目において、当初の指標値を上回ることができたため。
-------	------------------	----	--------------------------------

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

- 子ども・子育て会議や子どもの居場所部会における意見や検討結果を踏まえて、子どもの居場所の充実や事業改善に取り組んでいく。
- 子どもオンブズパーソン相談室や令和4年度に作成した子ども向けホームページ及び動画の周知を行っていくとともに、小学校での出前授業等、子どもの権利に関する啓発活動を継続していく。

政策 子どもと教育

施策13 子育て家庭の支援

【Plan】

目指す姿	子育て家庭を支える施設、体制を確保し、様々なニーズに応じた支援を行うとともに、特別な配慮を要する家庭にも、きめ細やかな支援を推進することで、家庭が安らぎと笑顔に満ち、子育ての楽しさ、喜びを実感できるまち		
主担当課	子育て支援課	関連課	保育課、児童青少年課、自立生活支援課、健康課、指導室
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【子育て支援課】</p> <p>子育て総合相談を実施。 義務教育就学児医療費助成制度を実施。 ひとり親家庭へのホームヘルパーサービス派遣を実施。 子育て中の保護者グループ相談を実施。 子育て情報の提供を実施。 子ども・子育て応援事業を実施（臨時）。</p> <p>【保育課】</p> <p>施設等利用給付の上乗せ（幼稚園）を実施。 施設等利用給付の上乗せ（認可外保育施設）を実施。 認可保育所での特別支援保育を実施。</p> <p>【児童青少年課】</p> <p>児童保育所での障がい児保育を実施。</p> <p>【健康課】</p> <p>母子保健健康相談事業を実施。 産後ケア事業を実施。 【自立生活支援課】</p> <p>小金井市児童発達支援センターきらりにおいて相談支援事業を実施。</p>	<p>ライフステージを通じた医療・保健・福祉・保育・教育関係者の緊密な連携の確保とネットワークを充実していくことが必要。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 子育て家庭への支援が充実していると思う市民の割合（アンケート）	24.6%	50.0%	31.0%	28.5%			
2 妊娠、出産、子育ての不安や悩みを周囲の人々や行政の窓口相談しやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	19.8%	40.0%	27.6%	24.5%			

総括・自己評価
<p>指標1 子育て家庭への支援が充実していると思う市民の割合（アンケート）及び指標2 妊娠、出産、子育ての不安や悩みを周囲の人々や行政の窓口相談しやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）は当初に比べて上昇しているものの、前年度からは減少している。指標1は全市民を対象としたこがねい地域応援券発行事業（市民1人につき4,000円を配付）に加え、年度末に子ども・子育て応援事業（0～18歳までの子どもに電子商品券5,000円を配付）を実施したものの、物価高による子育て家庭への影響、指標2は新型コロナウイルス感染症対策により、市民の交流が減り、それがいまだ続いていることが要因と考える。</p>

評価				
<table border="1"> <tr> <td>達成度合い</td> <td>見込んだ成果が上がっていない</td> <td>理由</td> <td>前年度に比べて指標の数値が減少したため、この評価とした。</td> </tr> </table>	達成度合い	見込んだ成果が上がっていない	理由	前年度に比べて指標の数値が減少したため、この評価とした。
達成度合い	見込んだ成果が上がっていない	理由	前年度に比べて指標の数値が減少したため、この評価とした。	

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性
<p>のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）で掲げる重点事業（義務教育就学児医療費助成制度の拡充や子育て情報の提供）を中心に引き続き取り組んでいくとともに、出産・子育て応援事業や高校生等の医療費助成事業を実施し、子育て家庭の支援に努める。</p>

施策14 子育て・子育て環境の充実

【Plan】

目指す姿	次世代の小金井市民を育てていくための地域環境を整備することによって、地域の様々な人々の関わりにより、安心して、楽しく、豊かな子育て・子育てができるまち		
主担当課	子育て支援課	関連課	保育課、児童青少年課、コミュニティ文化課、指導室、生涯学習課、公民館
関連計画	のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【子育て支援課】 子育て支援ネットワークを実施。</p> <p>【各課】 子どもが参加できる行事の促進を実施。</p>	<p>5類変更後の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえての実施が必要。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 地域における子育て・子育て環境が充実していると思う市民の割合（アンケート）	29.5%	50.0%	36.2%	32.5%			
2 地域で子どもに関係するイベント、交流、支援活動が活発に行われていると思う市民の割合（アンケート）	32.2%	60.0%	33.0%	36.6%			

総括・自己評価

いずれの指標も当初に比べて増加しているものの、前年度に比べると指標2地域で子どもに関係するイベント、交流、支援活動が活発に行われていると思う市民の割合（アンケート）は増加したが、指標1地域における子育て・子育て環境が充実していると思う市民の割合（アンケート）は減少した。新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、地域での活動自体は徐々に再開されているものの、全体的な充実にはつながっていないと考える。

評価

達成度合い	一部の成果が上 がっている	理由	前年度に比べて一つの指標が増加し、一つの指標が減少したためこの評価とした。
-------	------------------	----	---------------------------------------

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

のびゆくこどもプラン 小金井（第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画）で掲げる重点事業（子育て・子育て支援ネットワーク協議会への参加団体増や子育てに配慮した公共施設の改善）を中心に引き続き取り組んでいくとともに、令和5年度は「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2023小金井を開催し、子育て・子育て環境の充実に努めていく。

政策 子どもと教育

施策15 学校教育の充実

【Plan】

目指す姿	一人ひとりの子どもが未来を創造する当事者として、活発な好奇心を持ち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに育つための学校教育が充実しているまち		
主担当課	指導室	関連課	学務課
関連計画	第3次明日の小金井教育プラン		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【指導室】（予算1千万円以上及び重点実施事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談に要する経費（予算1千万超。R7事務事業評価） ・中学校部活動に要する経費（R8事務事業評価） ・語学指導に要する経費（予算1千万超） ・その他教育指導等に要する経費（予算1千万超） ・指導室関連教育施設に要する経費（予算1千万超。R6・7事務事業評価） ・特別支援教育に要する経費（予算1千万超） ・学校運営協議会に要する経費（R4事務事業評価） <p>【学務課】（重点実施事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学相談関連各事業（R5事務事業評価） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領では、知識の理解の質を高め、確かな学力を育成するといった従来の延長線上にあるテーマのみならず、道徳教育、体験活動及び体育・健康に関する指導を重視・充実させることにより豊かな心や健やかな体を育成するといったことも挙げられている。このように、学校教育に求められることが広範化・多様化する中で、市・市教委・学校としては、限りある予算・人的資源をバランスよく、また、教職員の働き方にも配慮しつつ、配分していかなければならない。 ・コロナ禍を経て、保護者や市民の価値観は、さらに多様化・複雑化した。学校は、そうした違いを受け止めつつ、一方では、一定程度に集約された目標・目的に向かって多くの子どもたちを導いていくなど、より難度の高い課題に直面している。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 学校が楽しいと思う児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	小学校 85.6% 中学校 75.4%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 85.1% 中学校 80.3%	小学校 85.5% 中学校 82.7%			
2 授業が分かると回答した児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査／文部科学省）	小学校 87.3% 中学校 72.7%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 88.2% 中学校 79.1%	小学校 86.4% 中学校 82.5%			

総括・自己評価
<p>コロナ禍で中止が続いた宿泊行事（林間学校、修学旅行等）及び音楽鑑賞教室等の全面実施並びに体験活動事業の充実及び不登校支援施設的环境改善等複合的な要因により、学校が楽しいと思う児童生徒の割合は高まった。</p> <p>学校教育の現場では、児童生徒が学校に行きたくなるように、また、授業を分かってもらえるように、様々な工夫を凝らしている。市教委は、学校によるそうした工夫を丁寧に観察し、持ち寄って共有し、それをサポートするような手立てを展開するなど、現場発のことに立脚しつつ、指標の改善に繋げていく必要がある。</p>

評価				
<table border="1"> <tr> <td>達成度合い</td> <td>一定の成果が上がっている</td> <td>理由</td> <td>学校教育に求められる役割の増大に対応した各種施策の展開による成果が指標結果として確認できるため</td> </tr> </table>	達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	学校教育に求められる役割の増大に対応した各種施策の展開による成果が指標結果として確認できるため
達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	学校教育に求められる役割の増大に対応した各種施策の展開による成果が指標結果として確認できるため	

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・学校家庭連携推進事業や校内別室指導事業の新設等により、手を差し伸べるべき子へのアプローチ手段を増やす。 ・コミュニティ・スクール制度の全校展開を契機に研修会等を開催するなど、同制度の更なる活性化を図る。 ・アフターコロナにおける学校教育のあり方について、教育行政に係る最新トピックを収集しながら、学校とともにアップデートする。

政策 子どもと教育

施策16 学校環境の整備

【Plan】

目指す姿	安全で安心な学習環境の整備・充実に取り組むことで、児童・生徒が学習に集中することができ、豊かな学びと育ちを支える学校環境があるまち		
主担当課	庶務課	関連課	学務課、指導室
関連計画	第3次明日の小金井教育プラン、学校施設長寿命化計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【庶務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井第一小学校校舎改築等設計委託、東小学校増築校舎等賃貸借、緑小学校校舎増築等基本設計委託に着手。 ・小中学校トイレにおける洋便器化等の改修工事を実施。 <p>【学務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ネットワーク構築委託事業を実施。 ・校務用システム構築委託事業を実施。 ・屋内運動場エアコン賃貸借事業を継続。 ・通学路防犯カメラ管理事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校トイレの洋式化率の更なる向上に取り組んで行く必要がある。 ・児童生徒数及び学級数の動向を引き続き注視し、必要となる施設整備を行っていく必要がある。 ・学校ネットワークについては、児童生徒数が増大しており、通信量、必要環境が毎年増大している。 ・屋内運動場エアコンについては、令和元年度設置分の更新時期が令和6年度に到来し、以降、順次、更新時期を迎える。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 子どもが義務教育を受ける環境として学校施設が充実していると思う市民の割合（アンケート）	36.4%	60.0%	46.1%	38.7%			
2 学校施設の長寿命化計画の達成率	—	11.0%	—	—			
3 週1回以上授業でICT機器を使用した児童・生徒の割合	30.6%	100.0%	54.2%	87.5%			

総括・自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・法改正による小学校学級編制標準の引き下げを受け、小学校の児童数・学級数の推計を行い、大規模校化が顕著となる小学校3校の増改築等設計委託業務に着手するなど、児童数・学級数の増加対応と長寿命化計画に基づく施設の老朽化対策を適切に進めている。 ・小中学校3校においてトイレの洋便器化等改修工事を行い、令和4年度末の小中学校トイレ洋式化率を約61%とし、小中学校のトイレ環境を向上させた。 ・全小中学校の屋内運動場へのエアコン設置を完了し、避難所でもある屋内運動場の環境改善を達成した。

評価				
<table border="1"> <tr> <td>達成度合い</td> <td>一定の成果が上 がっている</td> <td>理由</td> <td>トイレ洋式化率の向上や全小中学校の屋内運動場へのエアコン設置の完了など、学校環境整備の推進により、目指す姿実現に向けた一定の成果を上げたと評価した。</td> </tr> </table>	達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由	トイレ洋式化率の向上や全小中学校の屋内運動場へのエアコン設置の完了など、学校環境整備の推進により、目指す姿実現に向けた一定の成果を上げたと評価した。
達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由	トイレ洋式化率の向上や全小中学校の屋内運動場へのエアコン設置の完了など、学校環境整備の推進により、目指す姿実現に向けた一定の成果を上げたと評価した。	

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校トイレの洋式化率70%を目指して、洋便器化に引き続き取り組んでいく。 ・児童生徒数及び学級数の増加を踏まえた学校施設の長寿命化に引き続き取り組んでいく。 ・児童生徒数及び学級数の増加に伴う校舎増築の検討や、普通教室を確保するための改修工事を適切に行っていく。 ・小中学校のネットワーク及びエアコンについては、現行設備を維持・拡充し、更なる環境改善を実施する。

施策17 芸術文化の振興

【Plan】

目指す姿	日常の中で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得て、一人ひとりが個々の感性で芸術文化を主体的に楽しみ、心豊かに暮らしていけるまち		
主担当課	コミュニティ文化課	関連課	
関連計画	第2次芸術文化振興計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>■芸術文化振興計画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民主体のワークショップ（「高齢者のためのはじめての映像制作の会」、「0,1歳のための初めての芸術文化体験連続講座」等を実施。また、第2次芸術文化振興計画推進委員会を発足した。 <p>■市民交流センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて自主事業を実施。感染状況に合わせて定員等を制限しつつ施設貸出を実施。 <p>■はけの森美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展覧会（「小山敬三展— 浅間より出でその頂きに至る—」「花侵庵と現代作家：No. 1志村信裕」「丸山晚霞 日本と水墨画」）を実施。 ・その他、関連ワークショップ、ギャラリーコンサートを実施。 	<p>■施策全体の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化は成果評価指標を定めることが難しい分野である。 ・芸術文化振興計画推進委員会実施事業について検討し、芸術文化振興の推進に繋げる必要がある。 ・第2次芸術文化振興計画を周知する必要がある。 ・令和4年12月に営業を終了したはけの森美術館喫茶棟について美術館、喫茶棟、花侵庵、美術の森一帯の活用方針を整理し、喫茶棟再開に向けた事業者募集を行う必要がある。 <p>■事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立文化施設の事業連携を進める。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 直近1年間で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得たことがある市民の割合（アンケート）	48.6%	55.0%	35.2%	44.0%			
2 芸術文化振興計画の達成率	—	80.0%	50.0%	53.0%			

総括・自己評価

令和4年度前半は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の中止や縮小も多かったが、後半は制限も少なく、より多くの事業を実施できた。国登録有形文化財である茶室「花侵庵」を使った展覧会等、新たな取組みも実施できた。また、芸術文化振興計画推進委員会の立ち上げを行い、委員と協働で体験型の芸術文化振興計画推進フォーラムを開催することができた。

評価

達成度合い	一定の成果が 上がっている	理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、行動自粛があるものの、感染対策を講じて事業を行えたため。
-------	------------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

芸術文化振興計画推進委員会で事業の評価方法について検討を進める。新型コロナウイルス感染症により縮小や自粛していた事業、施設の運営を元に戻す。昨年度営業を終了したはけの森美術館附属喫茶棟の再開に努める。

施策18 国際交流・都市間交流の推進

【Plan】

目指す姿	国際交流事業や、友好都市三宅村を始めとした他自治体との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深めるとともに、交流の輪を広げていくまち		
主担当課	コミュニティ文化課	関連課	
関連計画			

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>■国際交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は「うどん打ち体験会&懇親会」、「こども国際交流フットサル大会」は新型コロナウイルス感染症対策のため休止したが、「第10回日本語スピーチコンテスト」、「国際理解講座」、「防災語学講座」を実施した。 <p>■他自治体との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三宅村との親善交流の機会を作るため、小金井三宅島友好協会へ補助金を交付した。 	<p>■国際交流事業</p> <p>■他自治体との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、休止した事業の再開など、多様な交流の機会をつくる必要がある。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 直近1年間で異文化に触れる機会が増えたと思う市民の割合（アンケート）	11.2%	20.0%	11.1%	13.4%			
2 交流事業参加人数	285人	310人	30人	90人			

総括・自己評価

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、人流抑制のため交流ができなかったり、イベント等に参加できない状況であったため、指標1と指標2ともに「目指す姿」の達成度は低かったが、講座など対面による事業を一部再開することができた。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、多くの事業が中止となったが、一部事業を再開し講座等を実施することができた。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

国際交流について、休止した事業の再開などを含め、異文化体験につながる多様な機会をつくる。
都市間交流について、令和2、3、4年度の3年間休止した青少年自然・文化体験交流事業IN三宅を再開する。
小金井市内にある大学、NPOや市民活動団体等と連携し、WITHコロナでの親善交流事業を検討する。

施策19 人権・平和・男女共同参画の尊重

【Plan】

目指す姿	人権や平和に対する意識や、男女が互いに認め支え合う意識を高め、誰もが個人として尊重され平等に暮らせる、一人ひとりが輝いて生きることができるまち		
主担当課	企画政策課（男女）	関連課	広報秘書課
関連計画	第6次男女共同参画行動計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【人権】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演と音楽の集い（参加者数405人） 職員向け人権研修（参加者数39人） その他（人権身の上相談、人権パネル展等） <p>【平和】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非核平和映画会（参加者数43人） 小金井平和の日記念行事（参加者数78人） その他（原爆写真パネル展、非核横断幕掲出等） <p>【男女共同参画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第36回こがねいパレットの開催（参加者数26人） 情報誌「かたらい」第56号・第57号の発行 女性総合相談事業の実施（相談件数142件） 再就職準備セミナーの開催（参加者数36人） DV防止普及啓発パネル展の開催 性の多様性への理解促進講座の実施（参加者数21人） 性の多様性への理解促進パネル展の開催 	<p>人権や平和に対する意識の啓発としては、イベント等の実施が主となるため、時代に即した形で継続した取り組みが必要である。</p> <p>男女が互いに認め支え合う意識の啓発としては、イベントの開催や研修の実施、広報物による情報発信等を通じた継続的な取り組みが求められる。</p>

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 人権・平和が尊重されていると感じる市民の割合（アンケート）	37.9%	45.0%	43.5%	41.9%			
2 日常生活において男女が平等であると感じる市民の割合（アンケート）	36.6%	40.0%	36.4%	36.8%			
3 人権・平和のイベント参加率	66.3%	75.0%	68.6%	68.4%			
4 男女共同参画行動計画の達成率	—	80.0%	83.8%	94.1%			

総括・自己評価

人権や平和に対する意識の啓発について、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は規模を縮小して再開することができたが、令和4年度は事業の規模を拡大して実施することができ、参加数の増及び人権・平和意識啓発に繋がった。

男女共同参画行動計画について、令和4年度はコロナ禍で縮小していた事業の再開等に伴い計画が推進した。男女共同参画社会の実現に向けた取組は達成率だけで図ることは難しい面もあるが、継続して行うことが重要であると考えられる。

評価

達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、目指す姿に向けた一定の評価を上げたと評価した。
-------	------------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

目指す姿に向けて、引き続き事業や啓発活動に取り組んでいく。

政策 文化と生涯学習

施策20 生涯学習の振興

【Plan】

目指す姿	誰もが生涯を通じて学ぶことができる環境や機会を持ち、人生100年時代に向けて、地域コミュニティとのつながりをいかに自己実現と地域貢献ができるまち		
主担当課	生涯学習課	関連課	図書館、公民館
関連計画	第4次生涯学習推進計画 第3次明日の小金井教育プラン		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【全市的な生涯学習活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層に対して、各種講座やイベントを開催した。（図書館・公民館） 緑センターの委託化に向けて図書館協議会・公民館運営審議会に諮問した。（図書館・公民館） 新型コロナウイルス感染症の感染症対策として、公民館への来館が困難な人であっても講座参加が可能となるよう講座管理システムを試行した。（公民館） <p>【生涯学習を通じた地域づくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働本部を市内小中学校の9校に設置し、地域学校協働活動を推進した。（生涯学習課） <p>【幅広い郷土意識の喚起】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブックレット等の刊行、市内小学校等における学芸員による出前授業、市内の遺跡見学会等を実施した。（生涯学習課） 	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座や講演会、読書会でも新型コロナウイルス感染症の感染対策の経験を踏まえオンライン開催と対面開催を実施した。多様な学び方が求められつつあり、電子書籍の充実や講座のオンライン配信等は継続して実施する必要がある。 生涯学習関連施設が全体的に老朽化しており、利用者の安全性、利便性等を考慮して適切な維持管理が求められる。 公民館緑分館の野外調理場、宿泊機能について、事業再開に向けた整理が必要となっている。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 直近1年間で生涯学習を実践したことがある市民の割合（アンケート）	31.2%	40.0%	29.4%	36.4%			
2 生涯学習推進計画の達成率	—	80.0%	66.7%	77.8%			

総括・自己評価

指標1の割合は上昇した。令和4年度は新型コロナウイルス感染症による社会教育施設の臨時休館期間はなく、各種講座やイベントも例年に近い形で開催できたので、生涯学習に触れる市民の方が増えたと考えられる。

指標2は第4次小金井市生涯学習推進計画の「計画の進捗を把握するための指標」9項目の進捗より算出している。未だ新型コロナウイルス感染症の影響が残り活動内容に制限はあったものの、各事業とも工夫を凝らして実施し全体としては生涯学習の推進について一定の成果があげられたと考える。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	指標1、2とも目標値には達していないものの上昇しており、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中においても可能な範囲で工夫して事業を実施したことより、目指す姿に向けた一定の成果が上がっていると評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

令和5年度は市立の全小中学校でコミュニティ・スクール制度が導入されるとともに、地域学校協働活動も市内全小中学校で開始される。学校と地域、地域で活動している社会教育団体等がつながる仕組み作りを構築し、市全体の生涯学習の活性化を図る。

施策21 スポーツの振興

【Plan】

目指す姿	「豊かな生涯をスポーツとともに」を基本理念に、スポーツに気軽に親しむことができる環境や機会があり、誰もが楽しく元気に、仲間づくりを通して、生活の豊かさが向上されていくまち		
主担当課	生涯学習課	関連課	
関連計画	第2次小金井市スポーツ推進計画、第4次生涯学習推進計画、社会教育関係施設個別施設計画等		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
【生涯学習課】 ・スポーツ推進審議会の運営 ・第2次小金井市スポーツ推進計画の策定 ・小金井市総合体育館長期修繕計画に基づく総合体育館大規模改修工事の施工 ・市民体育祭、シニアスポーツフェスティバル、スポーツフェスティバル等の実施	・長期修繕計画がない上水公園運動施設（多目的グラウンド、テニスコート）、小金井市テニスコート場等の市スポーツ施設の適切な維持管理 ・運動やスポーツの機会の充実を図るため、市内の大学や民間スポーツ施設等との協力や連携 ・各施設の設備や備品の適切な維持管理

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 週に1回以上スポーツを実施している市民の割合（アンケート）	52.6%	65.0%	54.5%	63.2%			
2 市スポーツ施設の利用者数	536,458人	600,000人	299,112人	350,410人			

総括・自己評価

指標1については、増加傾向にあるものの目標値には至っておらず継続的な取組みが必要である。
 指標2については、令和3、4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設の利用制限を行った。令和3年度は小金井市栗山公園健康運動センター長期修繕計画に基づく大規模改修工事に伴い、一定期間、全館休館した。令和4年度は小金井市総合体育館長期修繕計画に基づくⅢ期工事に伴い、一定期間、施設の一部を休館した。これらの理由により施設利用者数が少ないと担当課としては捉えている。

評価

達成度合い	一定の成果が上げられている。	理由	長期修繕計画に基づく工事を施工し、栗山公園健康運動センター及び総合体育館については、適切に維持・保全を図ることができている。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設の利用制限を行ったが、スポーツ施設の利用者数は回復傾向である。
-------	----------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

令和5年3月に策定した第2次小金井市スポーツ推進計画に掲げた基本理念の実現に向け、誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進、運動・スポーツを通じた健康づくり、運動・スポーツ環境の充実に引き続き取り組んでいく。

施策22 福祉のまちづくりの推進

【Plan】

目指す姿	福祉における制度の枠組みを超え、地域の高齢者、障がいのある人、子どもなど全ての人々が支え合う体制・環境を実現することで、互いに助け合いながら安全・安心な生活を送ることができるまち		
主担当課	地域福祉課	関連課	介護福祉課、自立生活支援課
関連計画	第2期保健福祉総合計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
【地域福祉課】 ・福祉総合相談窓口事業を実施 ・成年後見制度利用促進の取組を実施 ・第2期保健福祉総合計画の改定（市民のニーズを把握するためアンケート調査を実施）	・多様な主体との連携づくり、地域での包括的な支援体制づくりが不十分である。 ・地域福祉の担い手育成及び活動継続への支援が不十分である。 ・市民後見人の養成及び後見人支援が不十分である。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 困った時に地域で助け合える関係性を持っている市民の割合（アンケート）	46.1%	80.0%	42.7%	44.3%			
2 地域福祉計画の達成率	40.0%	80.0%	50.0%	53.3%			

総括・自己評価
指標1については、地域コミュニティの希薄化、孤独・孤立化の課題に対して、地域福祉の担い手育成、相談窓口の充実等の施策を実施することで、地域での課題解決の体制づくりが着実に推進されている。一方で、地域活動の活性化までには至っていない。 指標2については、地域福祉計画の基本目標にある包括的支援体制の構築における福祉総合相談窓口の整備、相談支援体制の充実から評価を行い、体制充実に伴い包括化推進員の計画的配置を行っていることから概ね計画どおり推移している。また、その他の事業においても、概ね良好に推移している。

評価				
<table border="1"> <tr> <td>達成度合い</td> <td>一定の成果が上がっている。</td> <td>理由</td> <td>地域福祉計画が令和5年度に計画期間を終了するため新たな課題の整理が必要となるが、現計画の地域福祉計画に掲載される事業において、概ね施策内容を達成したことからこの評価とした。</td> </tr> </table>	達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	地域福祉計画が令和5年度に計画期間を終了するため新たな課題の整理が必要となるが、現計画の地域福祉計画に掲載される事業において、概ね施策内容を達成したことからこの評価とした。
達成度合い	一定の成果が上がっている。	理由	地域福祉計画が令和5年度に計画期間を終了するため新たな課題の整理が必要となるが、現計画の地域福祉計画に掲載される事業において、概ね施策内容を達成したことからこの評価とした。	

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性
令和4年度に実施したアンケート調査の分析結果及び現行計画の評価、国の動向を鑑み課題を整理し、不十分な取り組みについては研究、検討を行い、次期地域福祉計画に反映する。

施策23 高齢者の生きがいの充実

【Plan】

目指す姿	高齢者の地域での社会参加を促進することで、生きがいを持ち続け、安心して暮らせるまち		
主担当課	介護福祉課	関連課	経済課
関連計画	第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【介護福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護支援ボランティアポイント事業を実施 小金井シルバー人材センター補助事業を実施 <p>【経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者農園事業を実施 	<p>【介護支援ボランティアポイント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所・参加者いずれも活動量が減少しているが、感染状況を鑑みながら、受入れ再開への働きかけや新規受入れ活動先の確保に努めることが必要である。 <p>【小金井シルバー人材センター補助事業を実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該法人が過度に補助金に依存することなく、独自に収益を上げながら、持続可能なセンターの運営ができるよう経営体力を付けることが必要である。 <p>【高齢者農園事業を実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民農園の主な利用年代層と重複している。

【Check】

指標		当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1	直近1年間で社会活動・ボランティア活動に参加したことがある高齢者の割合（アンケート）	29.9%	35.0%	24.9%	22.6%			
2	介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画の達成率	—	80.0%	89.7%	97.1%			

総括・自己評価

指標1については、アンケート指標は減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動量が減少したことが大きいと思われる。コロナ禍以降、高齢者福祉施設のボランティア受入れを見合わせている状態が続いているため、受入れ再開への働きかけや、新規受け入れ活動先の確保に努めるとともに、高齢者の社会参加への意欲向上にむけ、情報発信を行ったり、研修を行った。

指標2については、前年度新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業についても、感染症対策を行ったうえで再開したほか、他事業についても概ね計画に沿って事業を実施することができた。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	活動量は減少しているものの、アンケート等を通じて登録者の活動意欲を保つことができていると考えられるため
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、高齢者の社会参加の機会促進にむけて取り組んでいく。また、指標の目標達成に向けて、第8期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画に基づき、引き続き取り組んでいく。

政策 福祉と健康

施策24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実

【Plan】

目指す姿	医療や介護の専門職だけではなく市民主体の生活支援の取組なども支援することで、高齢者が住み慣れた場所で自立した生活が続けられ、いつまでも自分らしく暮らすことができるまち		
主担当課	介護福祉課	関連課	地域福祉課、保険年金課、健康課
関連計画	第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【介護福祉課】 介護保険法に定める地域支援事業として、以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業） ・包括的支援事業（総合相談、地域ケア会議推進事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等） ・任意事業（家族介護支援事業等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的、意義を市民にわかりやすく周知することが必要である。 ・高齢者が暮らしやすい地域について各事業や地域ケア会議等を通して把握していくことが必要である。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 高齢者が暮らしやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	41.2%	50.0%	50.5%	45.7%			
2 認知症サポーター養成者数	6,751人	8,850人	7,824人	8,626人			

総括・自己評価

指標1については、事業自体は多岐にわたるものの、着実に目標に向かっており、施策全体の目指す姿に向けて成果が上がっているものとする。

指標2については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、地域包括支援センターと連携し、認知症サポーター養成講座の周知と実施を行った。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	指標1は前年度を下回っているものの、着実に目標に向かっており、施策全体の目指す姿に向けて成果が上がっているため。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

次年度の施策の方向性

指標の目標達成に向けて、第8期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画に基づき、引き続き取り組んでいく。

施策25 障がい者福祉の充実

【Plan】

目指す姿	障がい者の生活・就労支援、地域における交流の場を設けることへの支援を通じ、障がいのある人もない人もそれぞれが尊厳ある一人の市民として自立し、住み慣れた地域で共に支え合うことにより、生涯安心して暮らしていけるまち		
主担当課	自立生活支援課	関連課	地域福祉課、介護福祉課、健康課、子育て支援課、保育課、児童青少年課、指導室、まちづくり推進課
関連計画	障害者計画、第6期障害福祉計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合理的な配慮の提供に必要な費用の一部を助成 小金井市医療的ケア児支援連携推進協議会を設置 障害福祉サービスガイドラインの策定 日中活動系サービス推進事業補助金の見直しを実施 相談支援事業所連絡会の定期開催 <p>【児童青少年課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童保育所での障がい児保育を実施 	<p>【自立生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、共生社会実現に向け市民へ幅広く普及啓発するための方策の検討が必要。 <p>【児童青少年課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童保育所の看護師などの医療職の配置がない。 学童保育所の医療的ケア児の受入れ体制が未整備。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 障がいのある人もない人も共に暮らしやすい地域であると思う市民の割合（アンケート）	29.0%	55.0%	33.6%	29.1%			
2 障害福祉計画の達成率	—	80.0%	55.3%	50.0%			

総括・自己評価

指標1については、市民がその効果を直接感じるには至っていないが、合理的な配慮の提供に必要な費用の一部助成や医療的ケア児の支援に係る協議の場の設置などを行った。

指標2については、実績は増えたものの、対象者の増加率を踏まえて目標値を高く設定したことにより達成できなかった事業があるが、社会資源の不足を補うためのネットワーク構築の一環として、相談支援事業所連絡会の定期開催を行った。

評価

達成度合い	一部の成果があがっている	理由	地域生活支援拠点の整備は進まなかったものの、医療的ケア児の支援に係る協議の場の設置や障害福祉サービスガイドラインの策定により、目指す姿の実現に向けて成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

今年度新たに実施した事業などの更なる周知に努める。また、限られた社会資源を有効に使えるように事業所との連携を更に強化する。

政策 福祉と健康

施策26 健康の維持・増進

【Plan】

目指す姿	生活習慣病と健康づくりに関する正しい情報の普及と共有や、医療体制を強化することにより、私たちが生涯を通じて健康的で質の高い生活を送ることができるまち		
主担当課	健康課	関連課	保険年金課
関連計画	健康増進計画・国民健康保険データヘルス計画・国民健康保険特定健康診査等実施計画・東京都後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業実施計画		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【健康課】 新型コロナウイルス感染症対策と関連して次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅療養者等生活支援物資配達事業及び自宅療養者等買物支援事業 ・新型コロナウイルスワクチン接種 ・小児インフルエンザ予防接種の費用助成 ・高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担無料化 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育への関心が低下傾向である。 ・指標3については、未受診者への動機づけが課題である。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 自身は健康であり、日常生活に支障はないと感じる市民の割合(アンケート)	75.8%	80.0%	82.1%	80.0%			
2 食育の取組で、主食・主菜・副菜がそろっている栄養バランスの取れた食事に気を付けている市民の割合(アンケート)	80.8%	90.0%	78.5%	76.4%			
3 定期的に地域・職場などの健康診断を受けている市民の割合(アンケート)	86.5%	90.0%	82.7%	82.1%			

総括・自己評価

指標1については、指標実績が若干下降したものの、引き続き自身の健康増進を意識している市民は多いと分析される。従前とおりの取組みを継続していくほか、令和5年度以降は各種健康増進事業をコロナ禍前と同様に戻し、参加人数等も前年度より増やすことで、より多くの市民に参加してもらい、健康寿命の延伸とともに健診の重要性についても周知・啓発をしていく。

指標2については、事業やイベントはほぼ復活したが、事業内容については、試食中止等にしたため、事業の人数が伸びなかった。SNS・紙媒体などを活用し、食育の重要性について啓発をしていく。

指標3については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関の受診控え等により、特に令和2年度は特定健診及び後期健診の受診率が減少したが、令和3年度以降受診率は回復傾向にある。健康意識や健康診査受診率向上させ、生活習慣病等を早い段階から予防し、健康で質の高い生活を送れるようにする。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	指標の数値が伸びていないものの、目指す姿実現に向け一部の成果を上げたと評価した。
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>一部健診(検診)については、コロナ禍において受診控えの傾向があったため、定期的に健診等を受診する重要性を周知・啓発し、受診しやすい仕組みを検討する。</p>

施策27 市民参加・協働の推進

【Plan】

目指す姿	多様な市民の意思を市政に取り入れることで、私たちみんなの力で地域課題を解決するまち		
主担当課	企画政策課	関連課	コミュニティ文化課、広報秘書課
関連計画			

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民参加推進会議における提言を取りまとめ、市民参加の現状・課題や方向性を位置付けた。 <p>【コミュニティ文化課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働事業提案制度により採択された事業「ピアノでまちに賑わいを～ストリートピアノINこがねい」を実施した。 職員向け協働理解促進研修を新規に実施した。 NPO法人連絡会と協働で「協働講演会」を実施した。 協働事業提案制度の見直しにより、行政提案型を次年度から開始することにした。 <p>【広報秘書課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の声（389件）、市長への手紙（無作為抽出2,000人、回答者数519人、回答率26.0%）、市民と市長の座談会（2回）、みんなのタウンミーティング（3回）、町会長・自治会長連絡会（全体会1回、ブロック会4回（うち、1回は書面開催））、市報、ホームページ、わたしの便利帳に町会・自治会加入促進の記事を掲載 	<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が意見を出しやすくなるツールや媒体の適正化などの環境作りの検討。 市政についてサイレント層が自分事としてとらえ、市民参加につながる意識の醸成。 <p>【コミュニティ文化課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規に実施する行政提案型の協働事業提案制度について、提案元となる市民との情報共有や事業運営の支援を行う。 <p>【広報秘書課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民協働や地域の課題解決という観点において、町会・自治会と市の連携は非常に重要であるが、町会・自治会の加入率は年々低下している。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 「地域課題の解決に向けて、市民もまちづくりに参加している」と思う市民の割合（アンケート）	21.0%	50.0%	22.1%	23.0%			
2 直近1年間で地域活動に参加したことがある市民の割合（アンケート）	26.1%	50.0%	19.7%	21.7%			

総括・自己評価

<p>【企画政策課】</p> <p>市民参加推進会議から提出された提言を基に、幅広い世代が参加できるような環境作りの検討を行った。多様化する行政ニーズに対応するため、ICTを活用した市民参加の手法として審議会でのオンライン傍聴の試行を実施。</p> <p>【コミュニティ文化課】</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ、事業を実施することができた。一つ一つの事業は満足度も高く、協働の理解促進につながった。</p> <p>【広報秘書課】</p> <p>町会、自治会加入促進のポスターをリニューアルし、庁舎内に掲示するとともに町会・自治会へも全体会にて配布した。庁舎のポスターを見た市民の方からは反響があった。</p>

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	昨年度に比べ指標は微増しているものの、目標達成までには乖離があり、更なる取組が求められるため
-------	--------------	----	--

長期計画審議会コメント

--

【Action】

<p>次年度の施策の方向性</p> <p>【企画政策課】</p> <p>サイレント層、特に若者の市民参加を促すため、新たな市民参加のツールや若者の市民参加の場の在り方等を検討していく。</p> <p>【コミュニティ文化課】</p> <p>各事業を通して、協働に対する理解の促進を進めていく。</p> <p>【広報秘書課】</p> <p>今までの手法にとらわれることなく、効果的な形で町会・自治会への加入促進を応援していく。</p>

施策28 積極的な情報発信

【Plan】

目指す姿	開かれた市政を実現し、私たちが暮らす小金井市の魅力を広く発信することで実現する、多くの人から選ばれる「住みやすい」「住み続けたい」「住んでみたい」まち		
主担当課	広報秘書課	関連課	企画政策課、情報システム課、総務課
関連計画			

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等を活用した広報活動推進事業を実施 ・ ホームページ運用事業を実施 ・ 市報編集・発行事業を実施 ・ シティプロモーション事業を実施 ・ オープンデータ公開推進事業を実施 ・ イメージキャラクター広報活動事業を実施 ・ 個人情報保護制度についての研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信においては、情報の受け手側にとって必要な情報を効率的に受け取れるようにすること、送り手側にとって伝えたい情報を効果的に届けていくことを通して、市民サービスの向上を図っていくこと。 ・ 市の魅力や特徴を内外に発信していくにあたり、どのようなビジョンを持って、どのように発信していくかを明確にしていくこと。

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 市報やホームページなどで必要な行政情報が入手できていると感じる市民の割合（アンケート）	52.8%	65.0%	61.6%	58.7%			
2 小金井市公式ツイッターのフォロワー数	5,822人	7,569人	7,681人	7,989人			

総括・自己評価

指標1については、様々な広報媒体で行政情報の発信を行っているものの、数値は下がっている。特に市報及びホームページにおいて、新型コロナウイルス感染症についての情報提供が膨大・複雑となり、必要な情報が入手しにくいと受け取られたことも要因であると分析している。多くの市民が求めている情報を分析したうえで効果的・効率的に掲載することが必要であった。

指標2については、の数値は昨年に引き続き概ね良好に推移している。庁内におけるツイッターの運用が浸透し、市民の方々にも市公式ツイッターについて周知が進んだものと考えており、ツイッターの即時性・拡散性の特徴を生かし、今後もより効果的な発信に努めていきたい。

評価

達成度合い	一部の成果が上がっている	理由	指標1は下がったものの、指標2は良好に推移しており、今後、魅力を広く発信していく上で必要な情報発信ツールの周知は進んでいるものと評価した。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

- ・ 新たなSNS導入として多くの世代で利用されているLINEを導入し情報発信機能の充実を図る。
- ・ 既存の広報媒体の見直しの一環として、市報については多くの市民に読んでもらえるような紙面の見直しも含めたリニューアルを検討し、ホームページについては情報の見やすさ等の改善を検討していく。
- ・ 現行のシティプロモーションにおける課題等を踏まえて、今後の方向性等を再検討する。

施策29 計画的な行財政運営

【Plan】

目指す姿	長期総合計画に基づく施策を着実に実施し、持続可能な行財政運営と市民サービスの維持・向上を実現するまち		
主担当課	企画政策課（行政経営担当）	関連課	企画政策課、庁舎建設担当、公共施設マネジメント推進担当、自治体DX推進担当、財政課、情報システム課、総務課、職員課、管財課
関連計画	行財政改革2025、公共施設等総合管理計画、自治体DX推進全体方針		

【Do】

令和4年度の主な取組	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革2025を策定した。 ・市議会との合同勉強会での検討を経て構築した新たな行政評価システムにより、第5次前期基本計画における29施策と29事務事業を自己点検し、長期計画審議会による施策の第三者評価を行った。 ・小金井市DX推進全体方針及び方針に基づくアクションプランを策定した。 ・庁舎等複合施設建設に伴う跡地等庁内方針を策定した。 ・文書管理システム、グループウェアシステム、財務会計システムの入替を行った。 ・簡易版電子申請サービスを導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次前期基本計画における各施策の目指す姿の実現に向けた適切な進捗管理とさらなる施策の推進 ・制度や組織を改革する公民連携のさらなる推進 ・デジタル技術を活用した、業務効率化とさらなる市民サービスの向上 ・財政調整基金の取り崩しに頼ることのない、持続可能な財政基盤の強化と弾力化の推進 ・電子決裁機能の実用化、簡易版電子申請サービスにおける電子決済機能の導入

【Check】

指標	当初	目標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績
1 行財政運営に対する満足度（アンケート）	18.6%	25.0%	25.4%	19.6%			
2 前期基本計画の達成率	—	80.0%	15.4%	15.2%			
3 （仮称）行財政改革2025の達成率	—	80.0%	行革2025策定中	60.0%			

総括・自己評価

・施策マネジメントに改善を加え、施策評価と事務事業評価を合わせた行政評価システムの試行を開始した。令和5年度実施評価（令和4年度実績）に向け、第三者評価の手法の改善に取り組む。

・行財政改革2025を策定し、目指すべき将来像と取り組むべき課題を明確することができた。

・新庁舎・（仮称）新福祉会館建設に伴う跡地の活用について庁内方針を策定した。このことにより、庁舎等移転に伴う跡地等の活用方法の方向性を定めることができた。

・国が優先するマイナポータルを活用した行政手続のオンライン化について、概ね対応が完了した。

・業務環境の整備を早期に進め、行動変容を促すことにより、内部業務の効率化に向けた意識醸成を図る必要がある。

評価

達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	引き続き計画に沿ってさらなる推進を要するが、各課題に一定の進捗がみられるため。
-------	--------------	----	---

長期計画審議会コメント

【Action】

次年度の施策の方向性

・行政評価の試行を継続し、施策評価・事務事業評価を通じた自己点検評価により、計画的・効果的・効率的な自治体経営の推進を図る。指標となる前期基本計画の達成率を向上させるため、長期計画審議会とともに各施策の進捗管理を徹底していく。

・公共施設等総合管理計画に基づく、市の公共施設の適切な配置、維持管理を図るとともに、民間活力導入検討の枠組みとしてPPP/PFI手法の優先的検討規程を策定する。

・令和4年度に策定した行財政改革2025及び小金井市DX推進全体方針に基づき、「スマート自治体への転換」「多様な主体による市民の福祉の増進」の実現に向けて、デジタル技術を活用しながら業務の効率化を進め、限られた経営資源の最適化により、企画立案業務や市民対応に一層注力するなど、行政サービスの質の維持・向上を目指す。

・多様化・高度化する市民ニーズに対し、市民満足度の向上と行政サービスの質的な充実が求められていることから、「行財政改革はいまだ途半ば」の状況認識の下、更なる財政基盤の強化と弾力化を図る。

担当課一覧（施策）

政策分野	施策	主担当課	関連課
環境と都市基盤	1 みどりとの環境整備	環境政策課	農業委員会事務局、都市計画課、道路管理課、まちづくり推進課
	2 循環型社会の形成	ごみ対策課	
	3 環境保全の推進	環境政策課	
	4 市街地の整備	都市計画課	まちづくり推進課、道路管理課、区画整理課
	5 住環境の整備	まちづくり推進課	環境政策課、都市計画課、経済課、地域安全課、庶務課、道路管理課、交通対策課、介護福祉課、自立生活支援課、下水道課
	6 都市インフラの整備	道路管理課	都市計画課、下水道課
	7 交通環境の整備	交通対策課	まちづくり推進課、区画整理課
地域と経済	8 危機管理体制の構築	地域安全課	介護福祉課、指導室、まちづくり推進課、地域福祉課、健康課
	9 地域の安全・安心の向上	地域安全課	経済課、資産税課、環境政策課、ごみ対策課、健康課、まちづくり推進課、道路管理課、交通対策課
	10 産業・観光の振興	経済課	まちづくり推進課、区画整理課、自立生活支援課、高齢福祉担当、男女共同参画室、子育て支援課、地域福祉課
	11 都市農業の振興	経済課	農業委員会事務局、環境政策課、都市計画課、まちづくり推進課、介護福祉課
子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	児童青少年課	生涯学習課、コミュニティ文化課、環境政策課、指導室、子ども家庭支援センター、子育て支援課、企画政策課
	13 子育て家庭の支援	子育て支援課	保育課、児童青少年課、自立生活支援課、健康課、指導室
	14 子育て・子育て環境の充実	子育て支援課	保育課、児童青少年課、コミュニティ文化課、指導室、生涯学習課、公民館
	15 学校教育の充実	指導室	学務課
	16 学校環境の整備	庶務課	学務課、指導室
文化と生涯学習	17 芸術文化の振興	コミュニティ文化課	
	18 国際交流・都市間交流の推進	コミュニティ文化課	
	19 人権・平和・男女共同参画の尊重	企画政策課（男女）	広報秘書課
	20 生涯学習の振興	生涯学習課	図書館、公民館
	21 スポーツの振興	生涯学習課	
福祉と健康	22 福祉のまちづくりの推進	地域福祉課	介護福祉課、自立生活支援課
	23 高齢者の生きがいの充実	介護福祉課	経済課
	24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	介護福祉課	地域福祉課、保険年金課、健康課
	25 障がい者福祉の充実	自立生活支援課	地域福祉課、介護福祉課、健康課、子育て支援課、保育課、児童青少年課、指導室、まちづくり推進課
	26 健康の維持・増進	健康課	保険年金課
行政運営	27 市民参加・協働の推進	企画政策課	コミュニティ文化課、広報秘書課
	28 積極的な情報発信	広報秘書課	企画政策課、情報システム課、総務課
	29 計画的な行財政運営	企画政策課（行経）	企画政策課、庁舎建設担当、公共施設マネジメント推進担当、財政課、情報システム課、総務課、職員課、管財課

関連計画一覧（施策）

政策分野	施策	関連計画	URL
環境と都市基盤	1 みどりと水の環境整備	環境基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankyokeikaku/kankyokihonkeikaku/3kankyokihonkeikaku.html
		みどりの基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/479/keikakuhousing/green_masterplan2021.html
		農業振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/nogyo/nougvoushinkou/nougvousin_sakutei.html
		都市計画マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/index.html
		住宅マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/jutaku_shien/masterplan/zyumasuR4.html
	2 循環型社会の形成	一般廃棄物処理基本計画	http://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/446/keikaku/D0402010202204061524.html
	3 環境保全の推進	環境基本計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankyokeikaku/kankyokihonkeikaku/3kankyokihonkeikaku.html
		地球温暖化対策地域推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/473/kankyokeikaku/ondankakeikaku/D0401010202103251059.html
	4 市街地の整備	—	—
	5 住環境の整備	住宅マスタープラン	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/jutaku_shien/masterplan/zyumasuR4.html
		耐震改修促進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/jutaku_shien/taisihinkeikaku.html
		公共下水道プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/478/sougoukeikkousakutei.html
	6 都市インフラの整備	無電柱化推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/482/doro/D06020302019.html
		橋りょう長寿命化計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/482/doro/20160608.html
都市計画マスタープラン		https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakuikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/index.html	
公共下水道プラン		https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/478/sougoukeikkousakutei.html	
ストックマネジメント計画			
7 交通環境の整備	交通安全計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/482/kotsuanzenundo/koutuanzenkeikaku.html	
地域と経済	8 危機管理体制の構築	地域防災計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/472/bosai/keikaku/tiikibousaikeikaku.html
	9 地域の安全・安心の向上	—	—
	10 産業・観光の振興	産業振興プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/sangyou_rousei/sanshinplan.html
	11 都市農業の振興	農業振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/nogyo/nougvoushinkou/nougvousin_sakutei.html
子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/nobiyuku/nobiyukukodomopuran4.html
		第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
	13 子育て家庭の支援	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/nobiyuku/nobiyukukodomopuran4.html
	14 子育て・子育て環境の充実	のびゆくこどもプラン 小金井	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/nobiyuku/nobiyukukodomopuran4.html
	15 学校教育の充実	第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakuikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
	16 学校環境の整備	第3次明日の小金井教育プラン 学校施設長寿命化計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kosodatekyoiku/gakkou-kyoiku/gakkousisetu/gakkoutyouiumyouka.html

関連計画一覧（施策）

政策分野	施策	関連計画	URL
文化と生涯学習	17 芸術文化の振興	第2次芸術文化振興計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kankobunka/453/geijutubunkasinkou/dai2iigeibunkeikaku.html
	18 国際交流・都市間交流の推進	—	—
	19 人権・平和・男女共同参画の尊重	第6次男女共同参画行動計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/daniokyodosankaku/taisakusodan/daniokyodokeikaku/dai6iikoudoukeikaku.html
	20 生涯学習の振興	第4次生涯学習推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kosodatekyoiku/452/suishinkeikaku/dai4jisyougaikeikaku.html
		第3次明日の小金井教育プラン	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/kosodate/kyoikuplan/D0801010202103311304.html
21 スポーツの振興	スポーツ推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/kosodate/sportsplan202304.html	
	第4次生涯学習推進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kosodatekyoiku/452/suishinkeikaku/dai4jisyougaikeikaku.html	
	社会教育関係施設個別施設計画	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/koukyosisetu/kobetsusisetu/svakaikaku.html	
福祉と健康	22 福祉のまちづくりの推進	第2期保健福祉総合計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/keikakuto_06/fukushisougoukeikaku.html
	23 高齢者の生きがいの充実	第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/koreishafukushi/K25/kaigokoureisougoukei/8kijigyokeikaku.html
	24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kenkofukuhsi/koreishafukushi/K25/kaigokoureisougoukei/8kijigyokeikaku.html
	25 障がい者福祉の充実	障害者計画・第5期障害福祉計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/keikakuto_06/syohaihukusikeikaku.html
		第6期障害福祉計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/keikakuto_06/syohaihukusikeikaku.html
	26 健康の維持・増進	健康増進計画	https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/keikakuto_06/kenkohzoushin.html
		国民健康保険データヘルス計画	https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/427/hokenjigyou/dhjigyou.html
国民健康保険特定健康診査等実施計画		https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kurashi/427/hokenjigyou/tokuteikensin.html	
東京都後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業実施計画			
行政運営	27 市民参加・協働の推進	—	—
	28 積極的な情報発信	—	—
	29 計画的な行財政運営	行財政改革2025	https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/keikakuto_01/D01016012022090.html
公共施設等総合管理計画		https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/koukyosisetu/sougoukanrikeikaku/index.html	

資料6

第1回長期計画審議会

令和5年6月26日

担当委員一覧

グループ	政策分野	施策	担当委員
第1グループ	環境と都市基盤	1 みどりと水の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田端委員 ・ 鈴木委員 ・ 須藤委員 ・ 福平委員 ・ 井寺委員 ・ 出戸委員 ・ 萬羽委員 以上7名
		2 循環型社会の形成	
		3 環境保全の推進	
		4 市街地の整備	
		5 住環境の整備	
		6 都市インフラの整備	
		7 交通環境の整備	
	地域と経済	8 危機管理体制の構築	
		9 地域の安全・安心の向上	
		10 産業・観光の振興	
		11 都市農業の振興	
行政運営	27 市民参加・協働の推進		
	28 積極的な情報発信		
	29 計画的な行財政運営		
第2グループ	子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高松委員 ・ 田中委員 ・ 天野委員 ・ 檜山委員 ・ 木場委員 ・ 小早川委員 ・ 浅野委員 ・ 渡邊委員 以上8名
		13 子育て家庭の支援	
		14 子育て・子育て環境の充実	
		15 学校教育の充実	
		16 学校環境の整備	
	文化と生涯学習	17 芸術文化の振興	
		18 国際交流・都市間交流の推進	
		19 人権・平和・男女共同参画の尊重	
		20 生涯学習の振興	
		21 スポーツの振興	
	福祉と健康	22 福祉のまちづくりの推進	
		23 高齢者の生きがいの充実	
		24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	
		25 障がい者福祉の充実	
26 健康の維持・増進			